

音	絵札	読み札	ポイント	解説
は		俳句の道 松山風の ストリート	俳句の道	県民文化会館東の「俳句の道」が延伸し、平和通り沿いにも多くの句碑が設置されました。県民文化会館東通りには、道後の湯を詠んだ俳句の句碑があり、平和通りは、松山城・城北練兵場跡・古町など、このエリアにゆかりの俳句を刻んだ句碑が点在しています。
ひ		広めたよ 坊っちゃんの名を 夏目漱石	夏目漱石	夏目漱石は明治39年に『坊っちゃん』を発表しました。松山には、「坊っちゃん団子」「坊っちゃんスタジアム」「坊っちゃん文学賞」などがあり、『坊っちゃん』は松山市民にとっても親しみ深い存在です。
ふ		フランスの 知恵を用いた 萬翠荘	萬翠荘	大正11年、久松家第15代当主久松定謨(さだこと)が別邸として建てた洋館。定謨は陸軍武官としてフランスに駐在したことから、フランスの建築様式をとりいれました。
へ		兵隊が 勝手に泳いで 喧嘩した	お囲い池	秋山真之が泳いだ水練用プールで、海軍兵学校から帰った真之が兵隊と喧嘩した所です。現在は埋め立てられ、松山市青少年センターとなっています。
ほ		ポッポーと 線路走るよ 坊っちゃん列車	坊っちゃん列車	夏目漱石が描いた小説「坊っちゃん」の中に登場する蒸気機関車は明治21年から67年間、実際に市内を走っており、小説の影響から「坊っちゃん列車」と呼ばれていました。現在市内を走っている列車は平成13年にディーゼル機関車で復元したもので、レトロ感漂う車両が観光客に人気。乗務員の制服も昔の制服を復元しています。